※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１４

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったことや目的、機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします

２　学習の到達目標

(a)対象や事象を捉える造形的な視点の理解を深め、意図に応じて表現方法を創意工夫ができるようにする。
(b)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどを考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(c)主体的に創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	新種の花	・色彩基礎について学習 ・ルールに基づいて新種の花をデザイン ・ケント紙・アクリルガッシュで着彩・立体化 ・プレゼンテーション・鑑賞	a:補色や調和の関係を理解し、美しく表現できている。 b:テーマに応じた創造的な花のデザインを構想している。 c: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作品ついて理解を深めている	作品	ワークシート 作品	ワークシート 制作態度
一学期 二学期	抽象画	・「自分の気持ち」をテーマに抽象的な形で画面構成し、油絵具で着彩 ・プレゼンテーション・鑑賞	a:画材の特性を理解し、意図に応じて色彩やマチエールを工夫して表現している。 b:自分の気持ちと向き合い主題を生成し、創造的な発想や構想を練っている。 c: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、作品ついて理解を深めている	作品	ワークシート 作品	ワークシート 制作態度
二学期	新商品開発	・新商品のお菓子をデザインし、粘土で制作 ・市販されているお菓子の模刻 ・ターゲット・コンセプトを決め、商品デザインや広報戦略を考える。 ・粘土でお菓子制作 ・フライヤー作成 ・プレゼンテーション・鑑賞	a: 材料の特性を理解し、意図に応じ工夫して表現している。 b:目的を明確にし、商品を届けたい相手に伝わる表現を模索する。 c: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザイン思考ついて理解を深めている	作品	ワークシート 作品	ワークシート 制作態度
三学期	模写	・教科書掲載の図版を油絵で模写	a:画材の特性を理解し、意図に応じて色彩やマチエールを工夫して表現している。 b:原画を綿密に観察し、計画的に描画を重ねる。 c:原画の作者の意図や時代背景に思いを馳せたり、良さや美しさなどを感じ取り、作品について理解を深める。	作品	ワークシート 作品	ワークシート 制作態度
三学期	美術展	・事前準備、搬入搬出や会場当番など、生徒主体で展覧会の運営を行う。 ・他クラス・他学年の作品を鑑賞し、レポートにまとめる。	c:作者の意図や表現の工夫、様々な美術の特質、展示効果などを感じ取り、生活や社会と美術とのつながりや美術文化ついて理解を深めている。			鑑賞レポート 取り組み態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度